



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社  
 コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 憲治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 八巻 唯史  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	42,618	1.4	620	62.1	1,025	48.4	582	47.7
29年3月期第3四半期	43,204	2.3	1,639	25.7	1,989	27.2	1,113	14.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,815百万円 (25.4%) 29年3月期第3四半期 2,432百万円 (45.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	41.17	
29年3月期第3四半期	78.81	

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	112,473	69,961	62.2	4,942.11
29年3月期	98,946	68,817	69.5	4,866.59

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 69,961百万円 29年3月期 68,817百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.2	1,800	17.4	2,000	20.6	1,300	14.1	91.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	15,325,642 株	29年3月期	15,325,642 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	1,169,441 株	29年3月期	1,184,935 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	14,148,700 株	29年3月期3Q	14,130,006 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)1. 自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

2. 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
( 1 ) 経営成績に関する説明	2
( 2 ) 財政状態に関する説明	2
( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
( 継続企業の前提に関する注記 )	8
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )	8
( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 )	8
( セグメント情報等 )	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日~平成29年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており、個人消費も緩やかに持ち直しの動きが見られます。海外経済では米国や欧州の景気が回復している一方、米国の政策動向や東アジア地域での地政学的リスクの影響など不安定要素が増しており、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、砂糖事業の売上が減少したこと等により、前年同期比1.4%減の42,618百万円となり、経常利益は、砂糖事業等の損益の悪化により、前年同期比48.4%減の1,025百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比47.7%減の582百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### <砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、精糖の売上減少により、前年同期比3.9%減の30,092百万円となりました。平成29年産原料甜菜は収量および糖分が向上し、産糖量は大幅に増加する見込みですが、増産となるビート糖は制度上一般向け販売とはならず、採算的に厳しい原料糖となるため、当四半期末在庫にかかるたな卸資産評価損を計上しております。損益につきましては、その影響と砂糖価格低迷等もあり484百万円のセグメント損失(前年同期は545百万円のセグメント利益)となりました。

#### <食品事業>

食品セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の2,058百万円となりましたが、セグメント利益は、燃料費の高騰等により、前年同期比44.3%減の135百万円となりました。

#### <飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、配合飼料の売上増加により、前年同期比4.4%増の6,301百万円となり、セグメント利益は、配合飼料の販売数量の増加に加え、ビートパルプの製造コスト減少により、前年同期比236.2%増の264百万円となりました。

#### <農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、農業機材の売上増加等により、前年同期比5.2%増の2,006百万円となりましたが、セグメント利益は、移植機の開発費用の増加等により、前年同期比69.9%減の12百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の1,055百万円となり、セグメント利益は、ほぼ前年同期並の618百万円となりました。

#### <その他>

その他のセグメントの売上高は、貨物輸送の売上増加等により、前年同期比18.9%増の1,104百万円となり、セグメント利益は前年同期比53.6%増の131百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13,527百万円増の112,473百万円で、このうち流動資産は、主に原材料及び貯蔵品の増加により前連結会計年度末比8,366百万円増の56,236百万円となり、固定資産は、主に有形固定資産の増加により前連結会計年度末比5,160百万円増の56,236百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比12,382百万円増の42,512百万円で、このうち流動負債は、買掛金の増加等により前連結会計年度末比11,778百万円増の28,818百万円となり、固定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比604百万円増の13,693百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比1,144百万円増の69,961百

万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,182	4,231
受取手形及び売掛金	6,825	5,283
有価証券	10,000	8,000
商品及び製品	22,315	16,842
仕掛品	619	3,952
原材料及び貯蔵品	2,396	10,425
その他	1,532	7,503
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	47,870	56,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,922	11,678
その他（純額）	11,821	14,016
有形固定資産合計	22,744	25,694
無形固定資産		
	113	274
投資その他の資産		
投資有価証券	27,001	28,779
退職給付に係る資産	985	1,042
その他	236	450
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	28,217	30,267
固定資産合計	51,075	56,236
資産合計	98,946	112,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	958	5,393
短期借入金	9,798	13,277
未払法人税等	401	97
災害損失引当金	199	29
その他	5,682	10,020
流動負債合計	17,039	28,818
固定負債		
長期借入金	227	252
役員退職慰労引当金	11	16
退職給付に係る負債	4,819	4,896
その他	8,030	8,527
固定負債合計	13,089	13,693
負債合計	30,129	42,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,409
利益剰余金	41,392	41,267
自己株式	△2,455	△2,424
株主資本合計	55,620	55,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	14,308
繰延ヘッジ損益	△1	0
退職給付に係る調整累計額	112	120
その他の包括利益累計額合計	13,196	14,429
純資産合計	68,817	69,961
負債純資産合計	98,946	112,473

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	43,204	42,618
売上原価	31,181	32,087
売上総利益	12,022	10,530
販売費及び一般管理費		
販売費	8,172	7,704
一般管理費	2,210	2,205
販売費及び一般管理費合計	10,383	9,910
営業利益	1,639	620
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	416	460
持分法による投資利益	35	37
その他	67	92
営業外収益合計	524	597
営業外費用		
支払利息	66	63
固定資産処分損	87	109
その他	19	19
営業外費用合計	174	192
経常利益	1,989	1,025
特別利益		
固定資産売却益	18	9
特別利益合計	18	9
特別損失		
固定資産処分損	48	47
減損損失	-	66
投資有価証券評価損	-	27
災害による損失	297	-
その他	1	-
特別損失合計	347	141
税金等調整前四半期純利益	1,660	893
法人税等	546	311
四半期純利益	1,113	582
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,113	582

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,113	582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,274	1,222
繰延ヘッジ損益	5	1
退職給付に係る調整額	39	8
その他の包括利益合計	1,319	1,233
四半期包括利益	2,432	1,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,432	1,815
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,300	2,014	6,036	1,907	1,017	42,275	929	43,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	25	9	37	84	287	5,523	5,810
計	31,429	2,039	6,046	1,944	1,102	42,562	6,452	49,014
セグメント利益 又は損失( )	545	243	78	40	657	1,564	85	1,649

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,564
「その他」の区分の利益又は損失( )	85
セグメント間取引消去	9
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,639

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,092	2,058	6,301	2,006	1,055	41,513	1,104	42,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	25	11	38	82	291	6,402	6,693
計	30,225	2,083	6,313	2,044	1,137	41,804	7,506	49,311
セグメント利益 又は損失( )	484	135	264	12	618	547	131	678

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	547
「その他」の区分の利益又は損失( )	131
セグメント間取引消去	57
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	620